

「私の考える万博絵画展」の募集

日本は、今から8年後の2025年に、万博を開催できるように取り組んでいます。この万博では、世界中の国からたくさんの人が集まり、皆が仲良く楽しく暮らせる未来の社会を作れるように、いろいろな新しいことが実験されます。

小学生の皆さん、「こんな未来になったらいいな」という夢や希望を自由に描いてください。

あったらいいな！
こんなもの
できたらいいな！
こんなこと



■ 募集メインテーマ「私が考える未来の社会」

<サブテーマ> 次の①～⑩の中から一つを選ぶか、別にイメージする未来の社会を自由に描いてください

①	世界中の人が健康で長生きできる未来	②	生活が便利に、楽しくなる未来の道具
③	世界中の人が食べ物に困らない未来	④	世界中の人が平和で仲良く暮らせる未来
⑤	みんなで海や魚を大切に作る未来	⑥	みんなで自然や動物を大切に作る未来
⑦	世界中の国や人の差別がなくなる未来	⑧	世界中の人がキレイな水とトイレを使える未来
⑨	みんなが使える未来のエネルギー	⑩	温暖化や異常気象に困らない未来
⑪	①～⑩以外でイメージする未来の社会		

■ 応募対象 : 小学生（日本に住んでいる又は在学中の方）

■ 応募期限 : 平成29年9月30日（土）必着（当日消印有効）

■ 用紙、画材 : ・用紙は八つ切り画用紙（271mm×392mm）または四つ切り画用紙（392mm×542mm）
・画材は自由（版画、貼り絵を除く）

■ 応募方法 : 作品の裏面に応募シートを貼り付け、下記まで郵送してください

<送付先・問合せ先>

2025日本万国博覧会誘致委員会事務局（大阪本部）
〒540-8570大阪市中央区大手前2丁目
☎06-6944-6826
<http://www.expo2025-osaka-japan.jp/>



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO 2025



■ 作品の審査 : 絵画の専門家、2025日本万国博覧会誘致委員会事務局職員等が実施

■ 応募部門と授賞等 :

	最優秀賞	優秀賞	佳作
1～2年生の部	1名	2名	3～5名
3～4年生の部	1名	2名	3～5名
5～6年生の部	1名	2名	3～5名

- ・上記の受賞作品には、賞状と副賞を贈呈（表彰式を平成29年12月頃に実施予定）
- ・受賞作品のほか、100作品程度を入選作品として選定
- ・応募者全員に、万博関連の記念品をプレゼント

■ 応募作品の展示（複数個所で展示するなどの場合は、レプリカによる展示を含む）

- ・誘致委員会WEBページ、大阪府内の空港及び主要鉄道駅、商業店舗ほかを予定（H30.1以降）

主催 2025日本万国博覧会誘致委員会

協力 りそなグループ

後援 外務省、文部科学省（予定）、経済産業省、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会

ばんぱく
万博について



万博は世界中からたくさんの方が集まるイベントで、1970年大阪万博では約6,400万人、2005年愛知万博では約2,200万人が来場しました。
また、万博では新しい技術や商品が生まれ、生活が便利になる「きっかけ」となります。

【万博がきっかけで生まれたもの】

- ・エレベーター（1853年、ニューヨーク万博）
- ・電話（1876年、フィラデルフィア万博）
- ・ファミリーレストラン/ワイヤレステレホン/電気自動車/動く歩道(1970年大阪万博)
- ・ICチップ入り入場券、AED※、ドライミスト（2005年、愛知万博）

※愛知万博では心停止になった3人がAEDによって助かりました

<1970年の大阪万博で実験されたもの>



写真提供：NTT技術史料館

ワイヤレステレホン

<2005年の愛知万博で実験されたもの>



© GISPRI

ドライミスト



ばんぱく
2025年の万博について

- ・日本は、2025年万博の開催をめざしています！
- ・2025年万博は2020年東京オリンピック・パラリンピックに続く大きなイベント。日本を元気にします！

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

- 開催場所 夢洲（大阪市臨海部）※
- 開催期間 5/3～11/3（185日間）
- 入場者（想定） 約2,800～3,000万人
- 会場建設費（想定） 約1,250億円
- 経済波及効果（試算値） 約1.9兆円
- ※会場へ来れない人も、仮想現実（VR）等を用いて参加する取組も検討中

